

# 首都圏段戸会会報

平成23年9月  
第28号

発行責任者  
首都圏段戸会  
会長  
永田 宏  
編集発行人  
広報担当  
磯尾 進

## ご挨拶

首都圏段戸会会長 永田 宏 (高11回)



東日本大震災で被災された方々に、先ずは心よりお見舞い申し上げます。  
思い起せば、我等が故郷の三河でも、一九四四年、四五年と短期間に大地震が有り、三千人以上の方が他界されました。其の後も、新潟、阪神、中越沖大地震に見舞われている経緯から見ても、震災はいつかは日本の何処かにもやってくる訳で自然の恐ろしさに対する油断や人間の知恵と力への過信こそが、結果として大被害を齎していると言えます。「天災は忘れた頃にやってくる」という名言を再認識して、対策を常に講じて置くことが必要です。他方で被災地の復興についても人々のコミュニケーションが如何に大切かを再認識させられています。親子、兄弟、親戚、隣人、友人、先輩、同僚等々、人と人との絆とコミュニケーションの重要性にも気付かされたと思います。首都圏段戸会は同窓という絆で結ばれた任意団体ですが、一旦何か有った場合には大きな力を發揮出来る組織であると、会員

の皆様大いに自負しても良いと思います。さて、我々の絆の要であります岡崎高校は、文武両道、自己鍛錬に依り困難に立ち向かうという高邁な教育方針の徹底の下で、二十三年度の大学入試でも大きな成果を上げ、他公立高校から引続き羨望の的となり、尊敬を集めている事は、先輩一同誠に喜ばしく且つ誇らしい事でもあります。部活の幅の広さにも目を見張るものがあります。毎年希望を胸に上京してくる卒業生諸君と先輩同窓生との絆を強固なものにする事にも、首都圏段戸会として注力して参ります。勿論同窓会員同志の和の拡大が、主たる目的である事に変わりはありません。今年も百名近くの世話人の方々の御協力の下で、二十三年度総会が参加される皆様にとって、有意義且つ人の心の温かさを実感して頂く総会となる様に準備をして参ります。皆様お誘い合わせの上、奮って御参加下さい。

- |               |      |
|---------------|------|
| (高45回) 筒井 貴之  | 情報担当 |
| (高46回) 西川 博   | 情報担当 |
| (高47回) 大小 俊博  |      |
| (高48回) 杉本 いづみ |      |
| (高49回) 藤井 晋也  |      |
| (高50回) 青島 信吾  | 情報担当 |
| (高51回) 三田 桂子  |      |
| (高52回) 鳥居 福泰  |      |
| (高53回) 加藤 千貴  |      |
| (高54回) 今泉 佳子  |      |
| (高55回) 近藤 野王  |      |
| (高56回) 上野 靖美  |      |
| (高57回) 小安 英斗  |      |
| (高58回) 山田 北久  |      |
| (高59回) 浅野 実航  | 広報担当 |
| (高60回) 加納 由子  |      |
| (高61回) 石門 敦子  |      |
| (高62回) 犬塚 愛香  |      |
| (高63回) 小田 真香  |      |
| (高64回) 竹内 茂国  |      |
| (高65回) 塚内 藤智  |      |
| (高66回) 篠原 綾香  |      |

- |               |            |
|---------------|------------|
| (高21回) 小清水 雄文 | 情報担当       |
| (高22回) 山田 裕治  | 副事務局長・書記   |
| (高23回) 青山 浩三  | 会計監査       |
| (高24回) 野田 三彦  | 会計         |
| (高25回) 戸田 利彦  | 副事務局長・企画担当 |
| (高26回) 織山 知子  | 情報担当       |
| (高27回) 山口 光雄  | 書記         |
| (高28回) 石津 邦雄  |            |
| (高29回) 米柳 智史  |            |
| (高30回) 畔柳 博史  |            |
| (高31回) 畔柳 博史  |            |
| (高32回) 堀内 友二  | 企画担当       |
| (高33回) 阿部 由美子 | 企画担当       |
| (高34回) 板谷 敏正  | 企画担当       |
| (高35回) 井上 美子  | 企画担当       |
| (高36回) 岡菅 伸介  | 会員担当       |
| (高37回) 中野 幸和  |            |
| (高38回) 西田 陽子  |            |
| (高39回) 大谷 武彦  | 企画担当       |
| (高40回) 磯谷 健二  |            |
| (高41回) 重平 健二  |            |
| (高42回) 長野 麻子  | 広報担当       |
| (高43回) 八田 益之  | 会員担当       |
| (高44回) 松尾 直樹  | 情報担当       |

- ### 平成23年度世話人
- |               |                    |
|---------------|--------------------|
| (高2回) 服部 登    | 会計監査               |
| (高3回) 丹羽 弘    |                    |
| (高6回) 有馬 定政   |                    |
| (高7回) 是津 嘉久   |                    |
| (高8回) 杉浦 厚生   | 会長                 |
| (高10回) 山本 真司  |                    |
| (高11回) 永中 宏淳  |                    |
| (高12回) 鶴田 文男  | 広報担当<br>副会長        |
| (高13回) 成瀬 浩之  |                    |
| (高14回) 磯谷 鏡子  | 副会長                |
| (高15回) 水谷 信之  |                    |
| (高16回) 神谷 貞親  |                    |
| (高17回) 鈴野 正彦  | 広報担当               |
| (高18回) 伊与田 寛子 |                    |
| (高19回) 佐伯 博子  | 会計<br>情報担当         |
| (高20回) 山内 正行  |                    |
| (高21回) 都築 透明  |                    |
| (高22回) 福村 央明  | 事務局長<br>副事務局長・企画担当 |
| (高23回) 村木 太郎  |                    |
| (高24回) 天野 隆貴  | 副事務局長              |
| (高25回) 辻村 貴典  |                    |

「首都圏段戸会」は愛知県立岡崎高校の首都圏同窓会です。  
公式ホームページ <http://homepage3.nifty.com/dandokai/>  
メールアドレス [nqd28299@nifty.com](mailto:nqd28299@nifty.com)

特集

人生お楽しみ中!

誰でもイケマス!

日本百名山完登

高11回 水野 義之

加賀市出身の山岳作家故深田久弥氏が昭和39年「日本百名山」を出版しました。その後徐々に評判を呼び今日のブームに至ったわけです。最近では山ガールも参戦してきて大変喜ばしい事と思っております。ほとんどの山が低山の延長で登れ、一部の山を除き特にむずかしい技術がいらないのもブームの一因かと思われます。各山の詳細は各種ガイドブックやNETにゆずるとして、ここでは、私の経験上覚えておいて損はない事と、いくつかのヤバイ山を紹介したいと思います。

「覚えておいて損はないです」

1、かなりな日数を要するので一気にやってしまうと思わないこと。ガンバツて必要ない。気楽に楽しんで登って十分達成できる。10年目標が理想的。2、費用は200〜250万円位



3、用具は何でも登山用品店でそろえる必要はない(高価)。要は雨に濡れて困らないことと低体温症にならないこと。この2点で工夫して下さい。靴は好天ならスニーカーでも可。

4、地図上のコースタイムに1.5倍すれば休憩を入れたハイキングペースになる。

5、熊、ヘビ、雷にはめったに会わない。怖いのはスズメバチ。

6、槍、穂高の岩峰は思った程怖くない。

「ヤバイ山です」

1、「幌尻岳」額平川が登山道になっていて二十数回の渡渉がある。増水すると帰って来れなくなる。又七ツ沼カールはヒグマの食事場所。黒い点が見えたら降りない方がよい。

2、「トムラウシ山」ルートが長いので早立ちすること。まつ暗闇の針葉樹林帯は不気味でヒグマと出くわす確率がゼロではない。

3、「剣岳」唯一垂直登はん(約40m)がある山。足場はしっかりしているので用具は不要。ここでビビると完登はおぼつかない。キーポイントとなる山。

4、「宮之浦岳」どしゃ降りを感じること。晴天はまず期待できない。地元の人には11月が比較的いいと言っている。

5、「笠ヶ岳と聖岳」急登の山は他にもあるが超の字がつくのが笠ヶ岳の笠新道と聖岳の便ヶ島ルート。ここを経験すると他の山が楽に感じる。

ちなみに私は平成7年9月の雲取山(1座目)から平成13年8月の赤岳(100座目)まで6年かかりました。

最後に山ガールよ! ぜひ挑戦してくれ! 比較的安価なレジャーであるし、何よりもダイエットには最高である。

ワーカホリックに余生を楽しんでいきます。

高7回 杉山 修

昨日、私は75回目の誕生日を迎えて、後期高齢者の仲間入りをしました。地球環境保護、地域活動、福祉の3分野で日替わりに頭の切り替えをしながら、忙しい余生を楽しんでいます。

地球環境保護の活動は20年前、勤めていた会社が環境関連の仕事に参入しようとした時に、プラスチックのリサイクルの仕事に就いた時から始まりました。今は、友人の会社の委託を受けて、枯渇が進行している南洋材のラワンに代えて、短期間に成長するユーカリ材をベニヤ合板用の原木として実用化するプロジェクトに取組んで居ります。大規模にユーカリの植林を進めている中国企業と協力して、ラワン合板に劣らない品質のユーカリ合板を作る為に新しい合板工場の建設準備を進めております。

私は、成田空港に近い酒々井町と言う人口2万人の町で暮らしております。15年前に自治会の役員を引き受けたときに、町政の緩みに我慢できなくなって、改革を求めて月刊のミニコミ誌を立ち上げました。ミニコミ誌の発行は今も続けています。ミニコミ誌で名前が売れた関係で、町議会の議員にもトップ当選を果たしたりしましたが、今は議員を止めて地域活動に熱心に取り組んでいます。仲間と二人で酒々井の町名に因んで酒祭りを立上げ、今では町挙げての催しに発展させることが出来ました。

住民が自分たちで出来ることは行政に頼らずに地域の力で成し遂げられるようにして行きたいと考えて、ボランティア

を募って公園の花壇の管理や道路の清掃等の活動もしております。

福祉の分野の活動は、65歳になった時に、千葉県が募集した福祉サービスマスター3者評価委員に応募して評価委員の資格を得たことから始まり、県下の福祉施設の依頼を受けて、施設が提供している福祉サービスマスターが適切であるか、経営面で改善すべき点はないかを評価して報告書にまとめる仕事です。現役時代に系列企業の経営に当たった経験が評価されて、研修期間を経て資格を与えられたのですが、昨年は福祉先進国のスウェーデンに自主研修に出かけて行って福祉サービスマスターの在り方を学んで評価能力の向上に努めております。

数年前からは、近くの特別養護老人ホームの経営にも参加して、質の高いサービスマスターを提供する福祉施設づくりに取り組んでおります。

私の父は、岡崎にいた頃、浮浪者を我が家に泊めて職に就くまで面倒をみたりしておりましたが、私が世の中の役に立ちたいと願って今もワーカホリックに走り回って、忙しくも楽しい余生を送れているのも父のDNAを受け継いでいるからであろうと思っております。



建設現場でユーカリ合板の性能をPRする



町興しの仲間と共に町民に酒祭りへの参加を呼び掛ける(右端)

### 3. 11浦安の液状化で見たこと、感じたこと、考えたこと

高20回 天野 隆太郎

#### 深夜帰宅と我が家で起きたこと

勤務先（早大環境総研）で激しい横揺れが1分間程続いた2回の地震と絶え間なく続く余震を体感。JR、私鉄、地下鉄の停止点検で帰宅難民を予感、事務所で夜明かしを覚悟するも、23時過ぎに動き出した東西線で夜半過ぎに浦安駅着。京葉線新浦安駅方面に歩き出す帰宅者に混じり30分ほどで帰宅。

マンションには管理組合対策本部が組織され、玄関ロビーでボランティアが帰宅者へ「水道水送水元大型ポンプ（市川市内設置）が被災し当地区が断水。下水配管の一部で砂が詰まり排水制限中。」と説明中。エレベーターは自動停止で、11階の我が家で階段で上がりました。被害は写真立て・植木鉢が倒れた程度と分かり安堵。翌朝、インフラは電気・ガスOK、水道は復旧まで7日間、排水制限は10日間用途を確認でき、家族は他地区に一時疎開、私は早朝出勤・終日早稲田滞在・深夜帰宅を決めました。

#### 浦安市内で起きたこと

約30年前に埋め立てられた新市街では地震の揺れに伴う液状化現象が起き、地域内の道路・歩道上には湧き出た砂が各所で積もりました。一部区域では湧き出た砂と水の量に比例し地面が10〜50センチ幅で沈下、建物が隆起したかの錯覚を覚える程でした。周辺を眺めて、地面がほぼ平たく水平に沈下したこと、道路の中央分離帯と歩道脇の街路樹は普段の通り立ち並び被害が最小限に止まったこと

が確認できました。

新浦安駅より海側に延びた新市街に整然と建つ多くのマンション、ホテル群、大学施設等の建物自体に被害は見られませんでした。一方、中古市場で1億円前後の舞浜、今川地区等一戸建て住宅街には、家全体が沈下、一部が傾いた等の被害が数多く出ました。古い街並みの浦安駅周辺等旧市街区では何事も無かったようでした。

#### 液状化の影響

新市街を防潮堤まで貫く片側3車線、2車線幅の歩道を持つシンボル道路では、一部が砂で覆われた箇所が見られたものの、自動車や歩行者の通行に支障は無く、ほぼ平常時並の交通量が保たれました。風が吹く度、道路や歩道に残留の砂が乾いて舞い上がり、マスクを外せない



日々も。マンション、大学、ホテル、スパー等大型建造物はこの地盤強化（電柱大の杭打ち基礎）が万全で、地震対策が機能したとこの震災で証明された。

した。一方、マンションに比べ被害が深刻だった一戸建て地区は宅地造成当時の「液状化」認識が低かったが故に、被災直後の今こそが復旧即急務の地盤強化の時となりました。

イトーヨーカドー浦安店は中央玄関付近に隣接する歩道が液状化で地盤沈下し、30〜40センチ程の段差が発生、アスファルト舗装のスロープ化工事で早々に復旧しました。明海大学外周歩道には今も所々飛び出たままのマンホールが目立ちます。

#### 浦安で触れた地域ボランティア

町内会にあたるマンション管理組合各代表者の皆さんは浦安市との緊密な連携で、復旧の重要な役割を果たしました。普段の活動の積み重ねがこうした危機運営に活かされた実感します。各マンションの老若男女で組織されたボランティアやJAL等企业独自身寮の若者達、各学校の生徒等がチーム単位でシンボルロードや住居周辺の歩道上の残砂除去と土嚢詰めをし、市のトラックで撤去・運搬する官民一体作業が週末毎に続けられました。住民が歩く歩道は住民で復旧するという地元力の発揮でした。

#### 首都圏で起きたこと

- ・震災当夜、都内で過ごした帰宅難民約300万人、内約9万4千人が学校やホール等1030の公共施設に宿泊。
- ・液状化の影響は千葉県、東京都、神奈川県を含む東京湾沿岸部だけで4200haに及ぶ。
- ・関東地方全体では内陸部の我孫子市（千葉県）、加須市（埼玉県）を含めて約2万4000棟の民家が液状化被害を受ける。

#### 学んだこと、今後考えること

- ・「都市災害の敵は過密、救うのは余裕空間のある街づくり」浦安における液状化被害の影響は道路、歩道、下水配管（砂が雨水で流れて詰まる）等に集中しました。街路樹の生い茂る広い道路と歩道、電柱・電線を地中化し公園と緑地帯を配した余裕ある街づくりこそが歩道上の植え込みに緊急の仮設配管を敷設し、大規模な通行制限無しで迅速なインフラ復旧整備を可能としたと考えます。
- ・「マンション管理組合の危機運営・組織力」緊急時対応は、日頃の地域内連携と行政とのネットワーク維持が必須と再認識しました。

「集中から分散へ」賛否両論ありますが、作家の村上春樹さんはスペインでの国際賞授賞式スピーチで「効率率社会からの脱却」に触れ、石原都知事は「一極集中から都市機能分散」へと舵を切り始めました。住民が安全で安心な生活空間を維持するために住民自身が再考の一步を踏み出す時が来たと思います。ご存知でしょうか、ニューヨーク州はアルバニーが、カリフォルニア州はサクラメントが州都です。米国は政治・行政と経済・商業機能を都市で分散させているのです。

## 段戸フォーラム



首都圏段戸会では会員同士が楽しく語り合い、親睦の和を広げることをねらいとして、「段戸フォーラム」と「段戸キャリアアップ支援セミナー」を提供させていただいております。このなかで、前者は政治、経済などの分野で目覚ましい活動をされている会員の方を講師として招き、問題認識とともに、議論や意見交換を行うもので、昨年までに17回の開催を数えております。今回は6月17日に、東京都港区商工会館にて慶應義塾大学大学院経営管理研究科 清水勝彦教授（高34回）を講師として招き、開催いたしました。清水教授は東大法学部を卒業後、米国で

MBA（経営学修士）、Ph.D（博士）を取得され、コンサルタント会社、テキサス大学を経て、昨年からは現職にあります。米国在住当時、一時帰国の際、もう一つの「段戸キャリアアップ支援セミナー」において、ご自身の留学体験と、コンサルタントから学者への転身について語っていただきましたが、今回は「企業における戦略とその実行 “へとへと” から “わざわざ” へ」と題して、経営戦略の実行の秘訣について講演をいただきました。当日、学生を含め、老若男女あわせて29名の方々が参加され、会員のテーマに対する関心の高さをうかがわれました。セミナーでは、「戦略」という言葉の氾濫とコモディティ化、そして、現場に過度に依存した「へとへと（疲弊）」状態に陥っている日本企業の特徴の指摘から始まりました。さらに、その状態からの脱皮に向け、「わざわざ」という行動による動機付けの必要性について、具体的な事例を交えながら語られました。慶大MBAコース流の弁舌に加え、経営コンサルタントとして8年間にわたる現場経験を下敷きにした講演には、会場の聴講者はすっかり魅了させられ、終了時刻になっても質疑が相次ぐほどでした。参加者から「こんなすばらしい講演が聴けるなんて、ラッキー！」との声までがあり、満足感に浸りながら会場をあとにしました。

織田利彦（高26回）

## 段戸サークル活動

### —— 段戸音楽会 ——

私は音楽会で尺八を吹いています。総会の音楽会演奏の際に、西洋楽器に混じって尺八を吹いている姿に気付いた方もいらっしゃるかもしれません。

私は高校時代に吹奏楽部でホルンを吹いていましたが、大学では別の楽器をやるうと考え色々な音楽サークルを見て回りました。

結果、尺八、チャランゴ（南米の民族音楽で使われる弦楽器）、ホルンと、二足ならず三足の草鞋を履いていました。しかし三足の草鞋の履きにくさは言うに及ばず、尺八以外は長続きせず一年もしない内に辞めてしまいました。活動場所が尺八部だけで寂しく感じていたところ、ふと首都圏段戸会のことを思い出しホームページを見てみると音楽会なるものが活動していることを見つけ、さらにホームページの記述によれば尺八を吹く方もいらっしゃるという！説明に運命を感じた私は迷わず登録をしました。当初は音楽会の活動について何も知りませんでしたが、年代や職業も様々なみなさんは温かく迎えて下さいました。（ところで総会で演奏することも後から聞いて緊張しました）

尺八を吹かれる先輩とお会いしたい、一緒に尺八を吹きたい、はじめはそんな想いから登録しましたが、結局その期待は叶わず尺八吹き先輩は遠方にお住まいで普段の活動には参加されないということをお聞きました。何という、居る居る詐欺でしょう。しかし気持ちを新たに総会での演奏に向けた練習会に行ってみると、何とこれが楽しいではありませんか。

普段、西洋楽器と合奏することなど皆無、お箏と合わせる機会も限られていた私にとって、大人数での演奏は岡高時代以来で大変面白いものでした。



さらに付け加えると、ただ大人数というだけでなく多種多様な楽器編成、というか各々好きな楽器を持ち寄っての演奏で、バックグラウンドも年齢も技量も様々、学生から社会人、リタイアした方、趣味として楽器を演奏する方もプロとして活動している方もいらっしゃいます。

このような何もかも違う人々が、ただ音楽が好きという共通点だけで自然に集まって、肩肘張らずに一緒に演奏できる機会はそうはありません。

さらにプロの指揮者である大河内雅彦さん（42回）にご指導、本番では指揮をしていただくなど普通の尺八吹きには到底叶わない貴重な経験にも恵まれました。

久々に楽器を再開する、新しく楽器に挑戦してみたい、そんな方は肩の力を抜いたまま、是非段戸音楽会に参加してみてください。きっと思ってもいなかった新しい音に出合えるはずですよ。

鳥山順丘（高58回）

## 「杉浦弘先生」のこと

「タンサン」こと杉浦弘先生を懐かしく思い出される方は多いと思う。先生は昭和9年に岡崎中学を卒業、昭和17年から41年まで岡高で国語、古文、漢文を教え、野球部の顧問もされた。

ここに先生の著書「木啄」（昭和52年発行）がある。51年に岡崎北高を定年退職されたのを機にそれまでの文章をまとめられたもの。生徒対象のものと、アララギの歌人として「三河アララギ」に執筆されたものから成る。これを読んで驚いた。こんなにもすごい先生だったのかと。それなのに私は先生の知識や考えのほんの一部、受験限りの「知識」と、ちょっとエロチックな話しか受け取ってこなかった。もったいないことをしたと思う。

まず読書量のすさまじさに圧倒される。古典、神話、漢文、漢詩など日本、中国の古文。「アララギ」を始めとする短歌集や、短歌に関する書籍雑誌。また「井伏鱒二を愛読」し、「推理小説を読み散らす」など（ハヤカワ・ミステリーだけで486冊！）小説や紀行文などもあきれほど楽しんでおられる。とにかく読書力が常人ではない。旅先で見つけた「伴信友」を「旅館の小さな部屋で集中して一気に読み終え」たり。そして、これら書物の内容が頭の中に整然と蓄積されているだけでなく、縦横にリンクされているらしいのだ。

また、「何のために旅行するのか、よく分からぬ」と言いながら、驚くほど旅をされている。興味を覚えた何処にでも出かけている。読んだ内容を、目で見て確認し、そこでまた新たな発見もする。発見できるだけの知識が頭にあるのだ。「充分の学習なしでは奈良に行ってもあまり意味がない」と、意味がない旅をする私に反省を促す。

先生は、古い仏像、社寺、建物等に関心をお持ちだが、とりわけ石碑、石柱、石塔など、石造りがお好きのようだ。姿かたちを鑑賞し、時代を考証し、そこに彫られた文字や句を読み、カメラに収める。目指す碑だけでなく、ふと見つけた碑の文字を「実にいい字だ」と「しばらく見とれ」裏面の名前を記憶する。後日その人の歌集を求め読み、自らの歌作りを振り返りもする。

何が先生を突き動かすのか。「美しい自然が好きだが、人間にもっと興味がある」と言われる。深く生きた古の人の様々な人生を、その作品で知り、その場に立って感得しようとの欲求なのか。その底には、自分を含む人間への愛情、自分らしく人生を生き、生きている人々への共感があるのではと想像する。

その愛は、岡高、岡高生にも及ぶ。

「校門の頌」は「そこに四本の門柱が建っていた」に始まる。「なんとも言えず美しい」門の内にはく伝統の象徴であるザシキワラシが棲んでいて、「この門をくぐり」「この門から世の中に出て行った」生徒たちと共にすごしている。……そして終りの節は「ここに四本の門柱が建っている」「面目を一新した岡崎高校の西正門を固めてい」て、「くよき伝統」を象徴している。「来って岡崎高校に学ぶ者は、朝に夕にこの四本の門柱を仰ぎ、そのくよき伝統」に深く思いを致すべきであろう。」先生が岡高を去って八年後の文である。

「雨夜かりがね」は茂吉のこの歌の感想を書く宿題を出した話。その答案で先生を唸らせたS君、どんな先輩だろうか。

「熱い人」は野球部監督ドラさんこと筒山先生の早すぎる死への慟哭。「立派な教師には何人も遇った。しかし本当の教師に、筒山さんをのぞいて誰に会ったか。」「ベンチの筒山さんの横でスコアブックをつけ」ている野球帽姿が懐かしい。

「女性の美しさについてはうるさい方だ」と自認する先生が、角館の女子高生と岡高の女生徒の美しさの比較をした話。昭和39年9月のこの授業を記憶する方は居られるか。

書物と旅が他人を知る手段なら、自分自身を知るそれは短歌なのだろう。先生の歌集「一本の木」には約900首が収められている。先生の次男道生さんの編集で2009年の発行。タイトルは「渡りゆく木の橋折れて落下するわれを支へし一本の木よ」から。題材は多方面に渡るが、ご家族、肉親を詠んだものから何首かを抜く。



- ・いつしんに読みふける子とならび寝て源氏物語を読む二三枚
- ・亡き母のひとたび訪ひて思ひ出と語りし池を今日来り見る
- ・三十二年五月三日の昼なりき初めて逢ひし妹年三十七
- ・相共に俤挽く父を父として生まれ貫はれ知らず育ちき
- ・あかつきの夢に來りて酒を汲むなむなかりしわが実の父
- ・孫ふたり預かるために老いわれはビックリマンの菓子買ひに行く
- ・ショートステイに妻の行きたる真夜中におとうさんと呼ぶかすかなる声
- ・おのが個室に車椅子にて帰りゆく妻の後姿見送りにけり
- ・三十五年古りたる母の骨の上にわが手もて置く妻の白き骨
- ・成さぬ我をとがめ給はぬ母なりき四十三回忌の香われひとり焚く



「木啄」の「ある聖医伝」という本に関する文中で、「一介の村医として一生を終わった」お父上が詠んだ歌に触れている。「隣村の医者は息子と町に出て開業せりと言ふをこそ聞け」「わたしにとっては、いつまでも忘れることのできぬ一首である。」親の仕事継がなかった多くの息子の思いだろう。

先生の文や歌のほんの一部を紹介してきた。到底紹介しきれるものではなく、是非原典を読んでください。「木啄」は古書のネットで、「一本の木」は「音の楽舎 ファンタジア」杉浦道生 岡崎市牧御堂町郷前5-3 Tel.0564-52-1493で求めることができる。

先生は今年95歳、お元気で「額田の里」にて飄々と過ごされている。何十年ぶりかにどうにもお会いしたくなり昨秋お邪魔した。Gパンですすたと歩かれる様子は実に素敵で、当時のスマートな姿が目についた。先生の学識は到底無理として、せめて生き方は学び取りたいと思った。「老いてなほ若きころを持たまほし今日の向かうはかぎりなき明日」

(追) この原稿を印刷に回した翌8月2日、先生は急逝された。「人生を思うがままに真っ直ぐに生き、家族に迷惑をかける事なく生き抜いた父の背中が愛しく思います」ご長男修治様のご挨拶です。 編集人 磯尾 進 (高14回)

## 第39回首都圏段戸会総会・懇親会のご案内

●日 時 平成23年10月29日（土）12：30～16：30

●場 所 アルカディア市ヶ谷（私学会館）（右地図参照）  
千代田区九段北4-2-25（TEL 03-3261-9921）  
JR市ヶ谷駅から徒歩2分  
地下鉄市ヶ谷駅（有楽町線、南北線、新宿線）  
から徒歩2分



●講演会 テーマ：「指揮者の役割」  
講師：大河内雅彦氏（高42回）オーケストラ指揮者  
略歴：東京芸術大学器楽科卒業。東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の指揮研究員、副指揮者を経て、現在同団アソシエイト・コンダクター。またこれまで、広島響、大阪センチュリー、シエナ・ウインド、仙台フィル、名古屋フィル、九州響、東京都響、神奈川フィル、大阪フィル、大阪シンフォニカー等の各楽団を指揮。慶應ワグネルソサエティ、新交響楽団等多くのアマチュアオーケストラの指揮・指導にも当たっているほか、上野学園大学音楽文化部非常勤講師（オーケストラ・管打合奏）も務める。  
第49回ブザンソン国際指揮者コンクール セミ・ファイナリスト。

●会 費 男性 7,000円 女性 5,000円  
但し、古稀を過ぎた会員（高11回以前）と若手（高49回以降）は 4,000円  
学生は 1,000円

ご招待 ・古稀を迎えられた方は、ご招待申し上げます。（会費無料）  
・今年度対象者：高校12回（昭和35年3月卒）の皆様

〔注〕「夫婦割引」は、利用者が少なく、女性会員間の公平感の観点から廃止しますのでご了承ください。

●招聘恩師（予定）

藤原 肇先生（日本史）	小澤 正樹先生（英語）
永田 裕孝先生（体育）	古田 幹雄先生（国語）
横井 勝市先生（英語）	

《サークル活動》に関するお問い合わせ 皆さまの参加をお待ちしております！

<p>“段戸囲碁会” （代表：藤田 訓弘 高13回）kfujita@muc.biglobe.ne.jp</p> <p>“段戸華教室” （代表：西浦 瑞恵 高45回）usagi-m@msg.biglobe.ne.jp</p> <p>“段戸音楽会” （代表：山田 博子 高17回）marcialegow2w-danon3@memoad.jp</p>	<p>“段戸句会” （代表：小森 蓐子 高13回）shigeko_komori@ybb.ne.jp</p> <p>“段戸「山の会」” （代表：板谷 敏正 高34回）itaya@propertydbk.com</p> <p>“段戸ゴルフ会” （代表：木村富司雄 高10回）BYR10566@nifty.ne.jp</p>
--	---

## 運営基金寄付のお願い

首都圏段戸会会長 永田 宏 (高11回)

日頃から首都圏段戸会の運営にご協力を頂きまして、誠に有難うございます。

首都圏段戸会は、昭和47年（1972年）8月に第1回総会を学士会館で開いて以来、今年で39回目の総会を迎えることとなりました。

この間、当初は30～40名だった総会出席者も、去年は250名近くにまで増え、出席者の幅も、高校第2回・中学第51回（1950年3月卒）の大先輩から、岡崎高校を卒業したばかりの高62回（2010年3月卒）までの幅広い層の皆さんにご出席頂けるようになりました。

これも偏に会員の皆様のご支援の賜物と、重ねて御礼を申し上げます。

現在、首都圏段戸会では、長い歴史のある岡崎高校ならではの特色を活かし、首都圏において、「高校～大学～社会人を一貫してサポート」すべく、年間を通して各種イベント、勉強会、同好会、後輩への支援など様々な活動を進めています。

毎年夏には、岡崎高校の現役学生を対象に、大学の見学、大学生生活の紹介、その他学生の諸々の相談に乗る「オープンキャンパス」の活動を若手の会員が中心になって進めています。また、大学生を対象に、将来の進路の選択に参考となるよう、社会人の先輩の経験を紹介し、意見交換をする「段戸フォーラム」も開催しています。

その他にも同好会（「段戸サークル」と呼んでいます。）として、体育会系のゴルフ、山登りから、文化系の音楽、フラワーアレンジメント、囲碁、俳句まで幅広く活動をしています。

また、首都圏段戸会の諸活動を皆さんにお伝えするために、「首都圏段戸会会報」（年2回発行）を作成して、会員の皆さんにお送りしています。H21年度からは会報をカラー化し、より生き生きとした表情をお伝えできるように致しました。

同様な趣旨で、会員の皆さんにタイムリーな情報を伝えるため「首都圏段戸会Home Page」（URL：<http://homepage3.nifty.com/dandokai/>）も開設し、鮮度の良い情報も提供できるようになりました。

総会の準備を始め、これまでご紹介してきました色々な活動を支えているのは、皆さんから頂いている「運営基金」と、各年次から集まった80名近くの「世話人」の皆さんのボランティア活動であります。

首都圏段戸会は、企業・団体からの寄付などではなく、正に一人一人会員の皆さんのご支援・ご協力によって支えられ、人間的な手作りの感触を大切にしながら運営されている同窓会です。

つきましては、首都圏段戸会の活動を、これからも益々充実したものとするため、これまで以上に幅広く、会員の皆さんからの運営基金のご寄付を募りたいと思います。ご協力の程宜しくお願いいたします。

## 首都圏段戸会会計報告（平成22年度）

### 貸借対照表

平成22年12月31日現在 (単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 資産の部		
現 金	16,908	
通 常 貯 金	415,761	
郵 便 振 替	1,014,760	
資 産 合 計		1,447,429
II 負債の部		
未 払 金		
負 債 合 計		0
III 正味財産の部		
正 味 財 産		1,447,429
負債及び正味財産合計		1,447,429

### 収支計算書

平成22年1月1日から平成22年12月31日まで (単位：円)

科 目	金 額	金 額
I 収入の部		
総会懇親会費収入	1,238,500	
運営基金収入	1,422,500	
受 取 利 息	354	
当期収入合計		2,661,354
II 支出の部		
総会懇親会費用	1,314,753	
印 刷 費	690,240	
通 信 費	361,420	
世 話 人 会 費	174,405	
雑 費	98,108	
当期支出合計		2,638,926
当期収支差額		22,428
前期繰越収支差額		1,425,001
次期繰越収支差額		1,447,429

### 監査報告書

首都圏段戸会の平成22年度(自平成22年1月1日至平成22年12月31日)の計算書類は適正かつ正確であることを確認いたしました。

平成23年7月12日

会計監査 丹羽 鼎

会計監査 野々山 浩

平成22年度運営基金協力者

(校長) 高須勝行
(賛助法人) (株)文化工房
(中41回) 片岡源立
(中43回) 神谷満雄
(中44回) 前川正博
(中46回) 清水道夫
(中47回) 神谷和郎
(中49回) 柳功芳
(高1・中50回) 陶山祐司
(高2・中51回) 青山敦夫
(高3・併23回) 阿部恭道
(高4・併24回) 石高橋歌彦
(高5回) 岩月慎二郎
(高6回) 有馬弘正
(高7回) 川廣治
(高8回) 小斎富昌
(高9回) 大曾根妙子
(高10回) 高安藤哲司
(高11回) 青木かほ
(高12回) 稲垣早

(高13回)
(高14回)
(高15回)
(高16回)
(高17回)
(高18回)
(高19回)
(高20回)
(高21回)

大後杉鶴永服芦石柴神杉堤坂長新平本八阿石伊太金笹中水雨長深満木鈴丸渡青伊小佐鈴豊中林見武吉伊佐杉山安岩木近須高竹都野福藤村天遠神木杉竹原矢吉渥柴清戸
林藤浦田井部田川田道原坂実野多木部河奈田澤瀬野宮谷田江村木和邊青木与林伯木野田の藤野口山内藤瀬下藤藤橋内築澤島田木野藤尾村浦内田吹原美田
房孝智尚克欣勝一千幸正昭源正由完輝郊眞忠元鏡譽川正信隆弘紀子功博恵正武陽裕伸広正信安孝央隆由和康鑑勝忠芳照正
子孝子弘彦也信之男秋洋正治吾之男二道二澄幸修雄子夫隆義之義惠利子博恵昭紀司一志芳道行一史義明昇恵明司二広清誠男孝雄人
菅近立鶴成吹新伊柴杉鈴中中原藤眞山崎野尾垂原田築島伊扇小鋤竹中林深三山音清水内樽川村山森橋内由紀千恵収伊与田あさ子
野藤花田瀬拔井藤正重忠功浩山田田木崎野尾垂原田築島伊扇小鋤竹中林深三山音清水内樽川村山森橋内由紀千恵収伊与田あさ子
則祥陽文洋康正重忠功浩山田田木崎野野村井藤内林柄嶋尾谷輪田直雅幸俊内野木戸田藤本栗水徳内
彦子男徹司夫明德仁一之直忠弘哉子彰進一紱義子裕恵造子男春子代子宏久義直美夫博幸裕江子透兄市郎敏子高子和二子ひろ登江

(高22回)
(高23回)
(高24回)
(高25回)
(高26回)
(高27回)
(高28回)
(高29回)
(高30回)
(高31回)
(高32回)
(高33回)
(高34回)
(高35回)
(高36回)
(高37回)
(高38回)
(高39回)
(高40回)
(高41回)
(高42回)
(高43回)
(高44回)
(高45回)
(高46回)
(高47回)
(高48回)
(高49回)
(高50回)
(高51回)
(高53回)
(高54回)

早川久右衛門兵藤幸治
矢田山金市山山
近藤裕治子上田俊洋
杉藤純子榊原木上
中浦一賢嘉木上
渡村辺井寛野々山
永井島一嗣男田
大明保林宏史岡戸
小樋江和幸徳子石橋弥生
相原山柳幸信誠夫子織小島浦田容利祐子
大畔柳明芳子明子
杉浦橋口田光龍也淳雄三子雄信修己る枝
高山長宮山石大鬼石中高低岡根松成田戸橋高中森内金鈴竹古塩安内鷺中柴大磯勝大佐八里筒吉大金杉羽青鳥細鈴矢加
久田山藤浦村渡永大明小樋相大畔杉高山長宮山石大鬼石中高低岡根松成田戸橋高中森内金鈴竹古塩安内鷺中柴大磯勝大佐八里筒吉大金杉羽青鳥細鈴矢加
右金裕純一賢嘉木上
衛市治子榊原木上
門市治子孝治一寛嗣男史徳子信誠夫子明子
兵山上榊鈴溝野々山田彌讓岡戸石織小島浦田富山久崎大岡博英
藤田原木上野々山田彌讓岡戸石織小島浦田富山久崎大岡博英
幸俊洋龍和山浩生三子彦子明子己る枝
治文字誠雄子山浩生三子彦子明子己る枝